

市町村名		南大東村									
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	1-① 健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ						
	福祉民生課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-9					
担当部課名	福祉民生課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-9					
事業内容	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを2年に1度、南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度	
		(a) 当初予算額	1,939	1,939	1,996	1,996	1,996	1,996	1,996	509	
	(b) 予算現額	431	407	499	499	474	654				
	(c) 増減額(b-a)	▲1,508	▲1,589	▲1,497	▲1,522	145					
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-					
	A. 計(b+d)	431	407	499	474	654					
	B. 執行済額	431	407	499	474	654					
	うち交付金充当額	345	325	325	379	523					
	次年度繰越額	0	0	0	0	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
予算の状況の説明	検診のための検査技師等スタッフ来島渡航費の委託料は、合計497,800円(結核・肺がん検診177,120円、大腸がん検診59,040円、乳がん・子宮がん・骨粗しょう症検診261,640円)、胸部レントゲン保守管理料156,035(1/2)を使用料とし折半した。										
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況									
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度						
	1. 胸部レントゲン使用料の折半	目標	(使用料の折半の実施)	(使用料の折半の実施)	(使用料の折半の実施)	(使用料の折半の実施)					
		実績	未実施	使用料の折半の実施	未実施	使用料の折半の実施					
2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	目標	(補助の実施)	(補助の実施)	(委託の実施)	(支援の実施)						
	実績	補助の実施	補助の実施	委託の実施	支援の実施						
達成状況説明	平成25年度の住民健診予定日の10月には、台風が3回発生し、予定より1ヶ月後の健診となり、胸部レントゲン車を長期間島に置くことになったため、台風発生時期をずらすべく、4月~6月の間の日程調整を申し入れた。当該時期での実施について委託する検診医療機関と毎年交渉しているが、医療機関としては、学校健診等胸部レントゲン車に空きがないとの理由で30年度も実現に至っていない。平成28年度には県の保健医療部に対して南大東村におけるがん検診等の問題点、課題要望書を提出しているが、問題解決に至っていない。しかしながら、平成29年8月に別の医療機関と交渉し、29年度は無理だが、30年度においては車両の移送を検討したいとの返事がもたらえた。29年度については、検診車の輸送が実現するまでの期間という条件付きながら、沖縄県立南部医療センターから同病院附属の南大東診療所の使用許可と協力が得られたことから、胸部X線検診について診療所で実施することができた。しかし、結局は30年度も検診車輛の移送を要望したが、本村で実施する検診期間、船舶、先方との日程が合わず断念した。令和元年度も南大東診療所での実施になった。受診率アップのため住民検診と近い日程を設定し、実施した。その際、検査技師等スタッフの渡航を支援して来島していただいたことにより、各種がん検診を実施することができ、住民一人一人の健康状態を確認できた。これを受け、要再検・要精査の方には、通知により再受診を勧奨する事ができたことから、各種疾病の早発見、治療に繋がった。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(H23年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)					
		目標	(325)	(312(31.5%))	(320(32.4%))	(313(32.5%))	()				
	実績		430人(43.4%)	453人(45.9%)	465人(48.3%)						
	【参考指標】胸部レントゲン撮影者数	目標	()	(312(31.5%))	(320(32.4%))	(313(32.5%))	()				
実績		330人(33.3%)	317人(32.1%)	313人(32.5%)							
進捗状況説明	各種がん検診実施のための、検査技師等スタッフの派遣により、継続して実施できた。また、胸部レントゲン車の海上移送はできなかったが、胸部X線の撮影を島内の診療所で実施できた。よって、令和元年度は丁度目標の32.5%となった。										

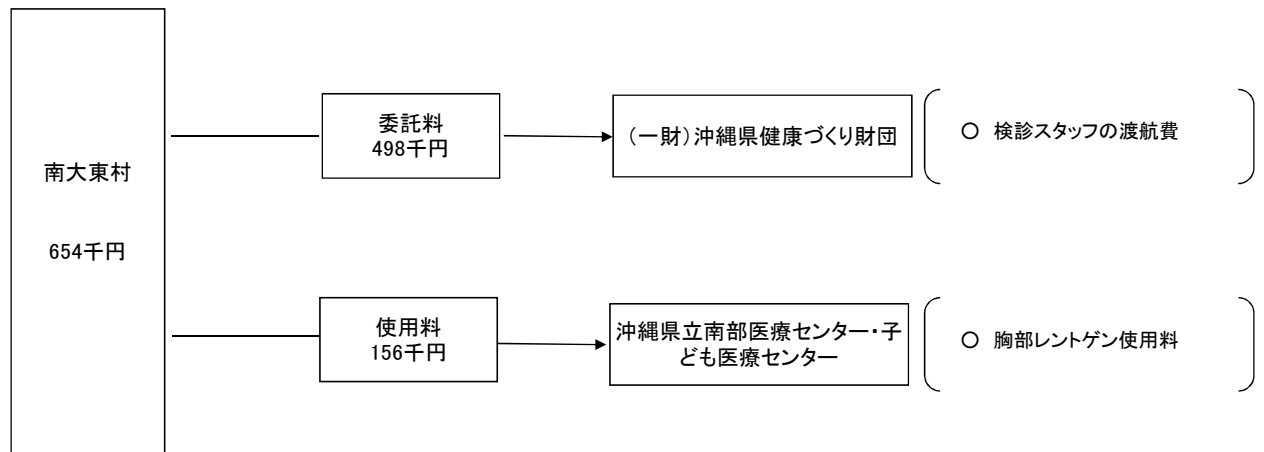
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・住民健診は村民の健康維持及びがんやその他疾病の早期発見等に伴う対策として継続的に行う必要がある。そのためには健診における専門スタッフを来島させ、健康診査を毎年定期的に行い、今後も健診の受診率向上に努めていきたい。</p> <p>・住民健診とがん検診を同時に実施するためには、レントゲン機器搭載の車輛を海上輸送する必要があるが、車輛の不足及び遠隔離島の条件的不利による輸送が困難であるため、実施できていないのが現状である。よって、痔替として県立付属南大東診療所のレントゲン機器を借用して実施しているが、土・日祝祭日の休日しか借用できなく集団検診と同日に受診できない事情がある。</p>	<p>・集団検診の受診率は目標を超えて達成できたので、大きな改善は無いが、村が専門スタッフの渡航費用を支援し、例年健康増進促進の強化に努めている旨を住民に広く周知させ、更なる受診率向上につなげていく必要がある。</p> <p>・本村の診療所に設置しているレントゲン機器の使用条件は、平日の使用ができないため集団検診受診者と同数の受診が見込めない事情があるため、レントゲン搭載車輛の海上輸送を昨年に引き続き検診医療機関に要望していく。</p>

今後の取り組み方針

例年どおり今後も住民検診の受診率向上とがんの早期発見、更なる健康維持を目指すため、レントゲン車輛と人員の派遣による集団検診及び胸部レントゲン検診(がん検診)の同日実施に向けて村と医療機関との協議を強化していきたい。
 又、同日実施ができなくても、集団検診と合わせて胸部レントゲン検診も受診するよう住民への推進を強化していき、各種疾病の早期発見及び早期治療につなげていこう引き続き努めていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
654	654	523	131	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南大東村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	専門病院受診渡航費助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	5,912	5,912	5,912	6,568	6,573
	(b)予算現額	7,068	7,791	8,054	7,978	2,633	
	(c)増減額(b-a)	1,156	1,879	2,142	1,410	▲ 3,940	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	7,068	7,791	8,054	7,978	2,633	
	B.執行済額	7,068	7,790	8,054	7,978	2,633	
	うち交付金充当額	5,654	6,232	6,140	6,140	2,106	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算では352人を想定し、予算計上したが、交付要綱見直しにより、実績では137人と大きく下回った。 【助成金利用者内訳】 対象者137人/2,633,059円、付添人/13人206,841円、合計137人/2,633,059円(2,634千円) (内 急患患者9人/93,888円、小児のみ 4人/66,612円、手術・入院患者等75人/1,471,481円、今年度から追加の胃がん検診・マンモグラフィ検査49人/1,001,078円)						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	専門病院受診渡航費助成の実施	目標 (助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)		
	実績	助成の実施	助成の実施	助成の実施	助成の実施		
達成状況説明	制度対象者へは、診療所または申請窓口において、直接案内できたことからH27は実績375人、H28は410人、H29は414人、H30は410人でH28年度以降はほぼ横ばいの実績であったが、令和元年度は137人と大幅に減少したが、島外の専門病院にて治療、検査及び受診を必要とする患者や付添人の全てに渡航費を助成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費支援を要望する人への支援率100%) 当初支援人数見込:200件	目標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】 支援実施件数410件	目標	()	(-)	(-)	(-)	()
		実績		414件	410件	137件	
	【参考指標】 南大東診療所から島外医療機関への紹介状発行件数 304件	目標	()	(-)	(-)	(-)	()
実績			300件	304件	210件		
進捗状況説明	成果目標の件数は、受診見込みの件数と付添人は、中学生以下、認知症、障害がある者等、ひとりでの移動が困難な場合等を勘案し、おおよその見込みで計上した。例年同様当初の見込みを大幅に上回ったが年度途中で予算の増額措置を行うことができ、支援を希望する方全員へ支援を行うことができた。 制度対象者へは、診療所または申請窓口において、直接案内できたことからH27は実績375人、H28は410人、H29は414人、H30は410人でH28年度以降はほぼ横ばいの実績であったが、R1年度は137人と大幅に減少した。 例年、診療所が「紹介状発行証明書」の発行を行い、保健センターへの提出という流れへと誘導することで例年同様、必要書類の案内及び手続方法をチラシ及び口頭案内することができた。						

市町村名	南大東村
------	------

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	交通・生活コストの低減
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容
 離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(a) 当初予算額	14,641	14,753	12,422	29,980
	(b) 予算現額	12,995	13,121	13,455	26,603	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,646	▲ 1,632	1,033	▲ 3,377	0
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)	12,995	13,121	13,455	26,603	0
	B. 執行済額	12,995	13,121	13,455	26,603	
	うち交付金充当額	10,395	10,497	10,763	21,282	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
	予算の状況の説明	当初は29,980千円を計上していたが、台風その他悪天候等による海上時化の影響で船舶の航海数が減ったため、▲3,377千円事業費の減となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況			
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	食品、衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援	目標 (支援)	(支援)	(支援)	(支援)
	実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施
達成状況説明	令和元年度は台風及びその他時化の影響で航海数が減ってしまった分、何店舗かは航空輸送申請にて利用に至っている。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(H23年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		・沖縄本島と離島の生活必需品等の価格差(沖縄本島を100とした場合の指数)の縮小 ※価格差は県で行っている物価調査を使用している。	目標 (142.5)	(価格差の縮小)	(価格差の縮小)	(価格差の縮小)
		実績	指数:121.1 21.4ポイントの価格差の縮小	指数:119 23.5ポイントの価格差の縮小	指数:118.3 24.2ポイントの価格差の縮小	
進捗状況説明	H30年度に続き、補助対象となっている店舗による商品の値引き等がR1度も実施されていた。商店によっては各商品を値下げするとあまりお客様の実感がわきづらいということで年数回セールを行っていた。セールの際も本事業で軽減されたセールということも提示することで周知し、各店舗の協力と努力がみられた。					

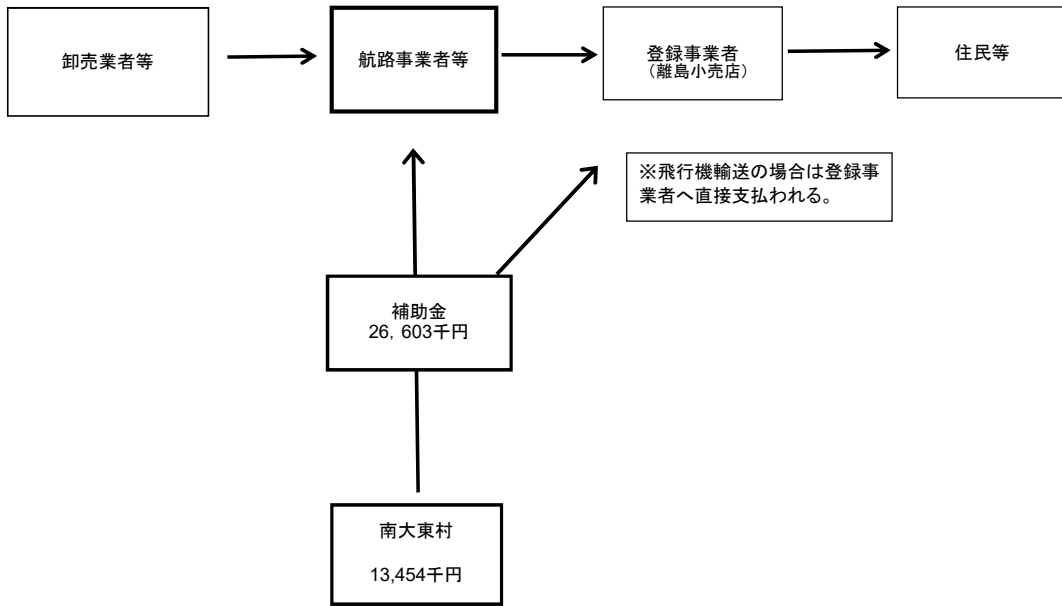
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 全ての品目を平均的に値下げをすると、価格低減の実感が薄れる懸念がある。又、年数回のセール等で価格低減の実感度の向上を図る取組を実施しているがそれだけでは事業効果を実感する機会も減少してしまう恐れもある。 	<p>例年どおり引き続き補助対象の店舗に置いては、商品の値引きシールの貼り付けを目立つように徹底させ広報を促す必要がある。又、補助対象店舗に補助を受ける際に必要な手続きを実施することで事務の効率を図っていく。</p>

今後の取り組み方針

- 各店舗に値引きシールを貼るよう依頼していく。
- 補助対象店舗に対し、飛行機輸送の際において提出する資料の記載事項を再確認してもらうよう依頼していく。
- 上記の取り組みを行うことで、航路事業者、各商店に円滑に補助金の支払、補助額の通知が毎月出来るように努めていくとともに、各商店との間で飛行機輸送に対する補助の実施にあたっての流れを確認し、円滑な補助実施に努めるほか、島民に対して補助事業の成果をわかりやすく周知できるようにしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,603	26,603	21,282	5,321	0



資金の用途の流れ・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○輸送経費・作業経費補助内容にそった航路事業者で支出先は妥当である。</p> <p>○不用額については、天候や事務処理上の必要性から生じたものであり、事業内容に見合った適正な規模である。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	花いっぱいクリーン環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a) 当初予算額	7,637	9,381	10,753	13,205	13,210	
	(b) 予算現額	5,923	8,167	12,769	13,054	12,063	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,714	▲ 1,214	2,016	▲ 151	▲ 1,147	
	(d) 繰越額	-	-		-	-	
	A. 計(b+d)	5,923	8,167	12,769	13,054	12,063	
	B. 執行済額	5,923	8,166	12,252	13,054	12,063	
	うち交付金充当額	4,737	6,532	9,801	10,443	9,650	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	96.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	・当初は13,145千円で予算を計上したが、天候不良等で美化清掃作業ができない場合があり951千円、委託料で64千円の入札算、植栽工事で67千円の入札残計1,802の予算残となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)	目標	(10箇所)	(12箇所)	(12箇所)	(12箇所)	
		実績	9カ所	12カ所	12カ所	12箇所	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度も観光地10箇所、アクセス道路2箇所の12箇所において美化清掃を実施した。 村内の観光地へ植栽工事を行うアクセス道路付近の危険木伐倒焼却駆除対象木の調査業務及び、伐倒焼却駆除業務を実施した。 村内の観光地へ続くフロンティアロード(遊歩道)の両脇へサルズベリの植栽を実施した。(660㎡) 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	観光客を対象に観光地やアクセス道路について、アンケートによる美化満足度調査(満足度70%以上)	目標	(満足度70%以上)	(満足度70%以上)	(満足度70%以上)	(満足度70%以上)	(満足度70%以上)
		実績		満足51% 普通41%	満足52% 普通43%	未実施	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 美化緑化されたアクセス道路が増えることにより、観光地の良い目印になり、更にたどり着くまで景観を楽しむ事も出来るため景観の向上に繋がったものとする。令和元年度は観光客等におけるアンケート調査は未実施により美化満足度調査は図れていない。 					

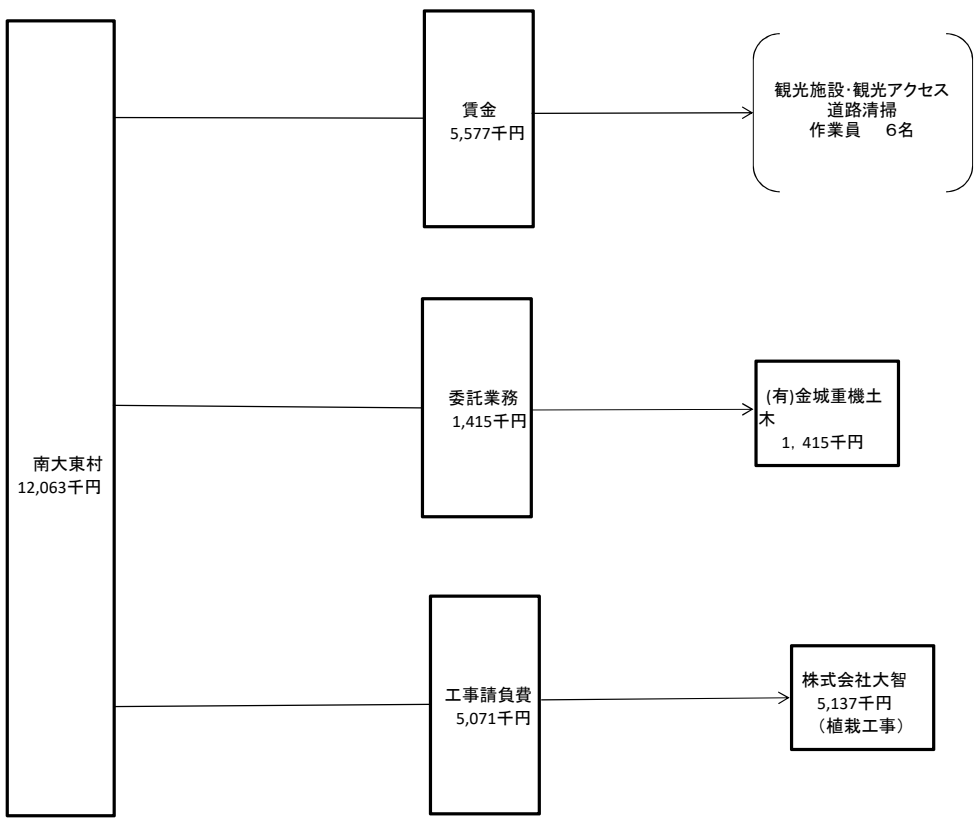
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>植栽工事や美化清掃作業を実施するにあたり、周辺の枯れ木や台風等で倒木が予想される危険木等の調査及び除去の必要がある。又、美化清掃作業においては、過去に備品で導入した草刈り機等で面積の広い場所においては効率よく作業が行えている。</p>	<p>調査した危険木は速やかに駆除焼却等を実施することで、美化清掃作業及び植栽工事の安全性を図っていく。又、植栽した花木(ハイビスカス)は成長していく段階で枝が乱雑になるため、定期的な選定作業等を行っていく。</p>

今後の取り組み方針

年々植栽箇所も増えて、景観美化等の作業量も増えていく中、草刈り機やその他機器を使用して効率よい作業が行えているが、高齢者が作業を行っているのが現状であるため、更なる安全と事故防止の配慮に努める必要がある。
それらを踏まえ、美化の景観に努めながら観光客等へ美化の満足度アンケートも着実にいき、目標の70%以上の達成に努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,063	12,063	9,650	2,413	0



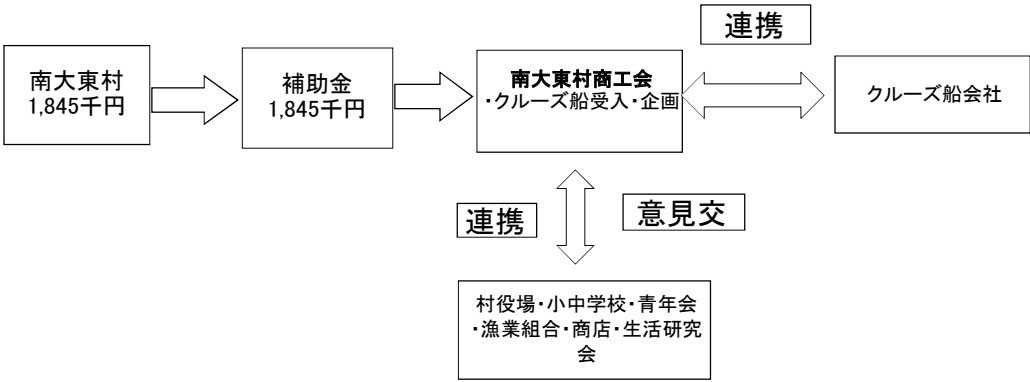
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事請負業者は、指名競争入札で選定しており妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	大型クルーズ船観光魅力発信支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-9	
事業内容	本村に訪れるクルーズ船客の増加を図るため、島の特異な自然・文化・特産品等の魅力発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 <small>【単位:千円】</small> <small>(「交付金」+「市町村負担」ベース)</small>		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,900	1,893	1,893	2,143	
		(b) 予算現額	1,799	1,893	1,845	2,013	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 101	0	▲ 48	▲ 130	0
		(d) 繰越額	-	-	-		-
		A. 計(b+d)	1,799	1,893	1,845	2,013	0
		B. 執行済額	1,798	1,635	1,845	2,013	
		うち交付金充当額	1,438	1,307	1,475	1,610	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.9%	86.4%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明	当初2,143千円で計上したが、クルーズ船の来島当日が海上時化に伴い、乗船客の上陸が不可になった事も影響し、130千円の減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	島内観光(船11隻、レンタカー15台)の実施	目標	島内観光(船11隻、レンタカー25台)	島内観光(船11隻、レンタカー15台)	島内観光(船11隻、レンタカー15台)	島内観光(船11隻、レンタカー15台)	
		実績	島内観光(船11隻、レンタカー25台)	島内観光(船11隻、レンタカー15台)	島内観光(船11隻、レンタカー15台)	未実施	
郷土芸能体験(司会1名、芸能4組)の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	未実施		
達成状況説明	クルーズ船来島当日に海上時化に伴い、乗船客の上陸が不可となり島内においての各種イベント等は中止となった。よって、少しでも経済効果を図る上で、漁船にて、クルーズ船へ出向き乗船して郷土芸能披露と、特産品の販売は行えた。又、島内で待機していた関係者やスタッフ等の報償金や人件費、レンタカーの使用料等は予定どおり支出を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	来島者数: 350名 (乗客300名、クルー50名)	目標	(-)	(350)	(350)	(350)	()
		実績		358(340/18)	370(360/10)	370(360/10)	
進捗状況説明	乗船客は上陸できなかったが、島から一部関係者が漁船にてクルーズ船へ出向いて乗船し、郷土芸能の披露及び倒産品販売を行えわずかながら島のアピールを行えた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>今回はクルーズ船の来島当日に海上時化に伴う乗船客の上陸不可となり、島内におけるイベントや郷土芸能及び特産品販売等が実施できなかったため、課題となった。</p>	<p>本事業においては当日の天候に左右され又、特殊であることから、中止となった場合の改善余地としての検証は困難であるが、今回のように島からクルーズ船に出向き、乗船してアピールする方法をわずかでも可能性がある限り検討していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今回の事例を鑑み、今後は年間をととして、気象条件の良い季節や各事業所及び農家の繁忙期を模索した開催時期の検討を試みていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,845	1,845	1,475	370	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額はなく適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である南大東村商工会も事業費を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	南大東村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	人材育成派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	島内の児童生徒を対象に島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,237	3,870	4,275	5,571	5,857
		(b) 予算現額	3,142	2,880	2,550	2,855	3,203
		(c) 増減額(b-a)	▲ 95	▲ 990	▲ 1,725	▲ 2,716	▲ 2,654
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		3,142	2,880	2,550	2,855	3,203
	B. 執行済額		3,142	2,880	2,549	2,855	3,203
	うち交付金充当額		2,513	2,303	2,039	2,284	2,562
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初5,857千円で予算計上したが、陸上競技大会など上位入賞を目指していたが、結果がでず派遣されなかった為、3月補正で2,654千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
	実績		実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	那覇地区英語ストーリーコンテスト優良賞、沖縄吹奏楽コンクール大会、審査員特別賞、那覇地区高円宮中学校英語弁論大会、優良賞、沖縄県ソロコンテスト(ホルン独奏、銀賞)(クラリネット独奏、銀賞)を獲得し、文化系の大会の活躍が目立った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
			目標 ()	(100%)	(100%)	(100%)	()
	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含めてアンケートを実施		実績	100%	100%	100%	
	進捗状況説明	島外への派遣を希望する87名全員については、その全てに支援を実施する事ができ(天候不良で飛行機の欠航が発生し延泊も出た)離島苦の改善ができた。					

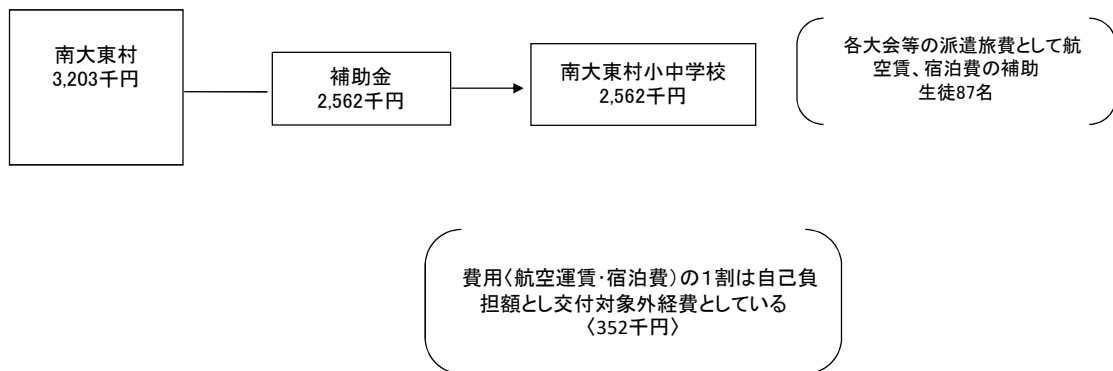
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・取り組みを行うことで、以下のような結果を得られるとともに、離島の子供達が経済的理由により本島の大会等へ参加困難となる状況を解消することができ、人材育成につなげるとともに、離島では経験できない多数の同年代の児童・生徒等と競技等を通しての交流を行うことができている。</p> <p>今回は沖縄ソロコンテストの銀賞をはじめ他、文化系の大会での活躍が目立った。一方で体育会系等においてはバトミントン大会の男子シングルのベスト16が最高で、他は個人的には健闘するもの目立った成績が残せていないのが課題と言える。</p>	<p>・大会参加の目標を100%として、引き続き日頃からの練習や、体調管理を徹底する必要がある。</p> <p>・対象となる経費や必要な書類の提出時期等について引き続き学校側へ周知し協力を求めていることで、円滑な事務執行につながっていくものと考えられる。各種大会へ参加するからには、少しでも上の成績を残せるような練習方法、意識の改革を生徒自身、関係者も検討してiku必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今後も各種大会へ派遣されることでそれらの意義を見つめ、意識改革を行いながら目標を持たせていく。又、経験した結果を見つめ直し今後の判断材料としてつなげて活かせるように努めさせる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,555	3,203	2,562	641	352



資金の流 れ、費 用 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○児童生徒・指導者の補助で妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算として計上している金額は、目標達成時の額なので妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金90%、個人負担10%とし保護者負担は妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績報告書を確認しており事業目的に則した者であったと判断した。